

■ 外来におけるトリアージ

■ 患者受付時の対応

- 1) 初診で予約のない患者は、近医での診療をお願いする。
- 2) 入院・受診前に 37.5℃以上の発熱やだるさ等の症状、咳・たん、のどの痛み等呼吸器症状がある場合は、受診前に外来まで電話するようホームページ・病院入口等で周知する。
- 3) 新興感染症に関しては外来掲示で注意喚起を行い、インターホンによる連絡でトリアージを行う。
- 4) 再診で予約のない患者は、各診療科に連絡し、診療科の判断による対応とする。

■ トリアージ場所

- 1) A 棟 1 階感染症外来（空気感染対策の必要な患者を優先する）〈感染症外来の運用〉
- 2) トリアージ施設〈トリアージ施設の運用〉

■ 空気感染する疾患（結核、麻疹、水痘、免疫不全者の带状疱疹）

- 1) 感染症外来やトリアージ施設を優先して使用する。
- 2) 結核疑い患者の採痰は、内科処置室に設置する採痰ブースを使用する。

■ 飛沫感染する疾患（インフルエンザ、ムンプスなど）

- 1) 患者にはサージカルマスクを着用させる。
- 2) 感染症外来やトリアージ施設が空いていれば、使用できる。ただし、空気感染する疾患患者が必要とする場合は、交替する。
- 3) 採血などの処置は、各診療科の処置室で他の患者と接触しないようにして行う。

■ 接触感染する疾患

- 1) 感染症外来は使用せず、各診療科の待合で待機する。トリアージ施設が開いていれば使用できる。
- 2) 嘔吐下痢症については、嘔吐のおそれがあるため、待機場所は飛沫感染する疾患に準ずる（マスクは不要）。